

---

**新型コロナワクチン BNT162b2 接種後の中和抗体量(スパイク蛋白)と透析データとの関連:高齢血液透析患者の傾向**

---

社会福祉法人照善会 こくら庵  
医療法人衆和会 長崎腎病院

○種河歩 林田征俊 船越哲

**【背景】**

当施設は、透析病院附設の特別養護老人ホームで、入居者は全員透析患者である。今回、入居者 26 名に BNT162b2 を 3 週間隔で 2 回接種し、接種後の中和抗体量を経時的に測定した。

**【目的】**

BNT162b2 を 2 回接種後の中和抗体量による年齢・性別と透析データ(体型・栄養価・除去能・透析条件・検査値)の群間比較を行い、中和抗体量に関する因子を調査した。

**【対象・方法】**

BNT162b2 を 2 回接種した高齢透析患者 26 名(平均年齢 86.8 才、男性 14 名、女性 12 名)。被験者の血清を、電気化学免疫法(ECLIA 法)にて Roche 社の試薬 Elecsys Anti-SARS-CoV-2 を用いて測定(BML 社)をおこなった。新型コロナワクチン接種 1 回目 3 週間後・2 回目 2 週間後と 3 週間後と 16 週間後の 4 ポイントで、抗体量高値群: >15U/ml-中央値 116.5U/ml、低値群: ≤15U/ml-中央値 10.7U/ml の各種透析関連データとを比較した。

**【結果】**

中和抗体量による透析データの群間比較では、いずれの項目についても有意な関連はみられず、年齢のみ有意な関連であった( $P < 0.05$ )。

**【考察】**

高齢透析者の中和抗体産生能と透析関連データに関連性はなかったが、高齢者ほど中和抗体量が低い結果であり、注意を要すると考える。